

「ツタヤ図書館」の資料区分を検証する その6 —周南市立德山駅前図書館の検索・予約システムを中心に—

Verify the TSUTAYA Classification, Part6 : Based on Shunan Municipal Tokuyama-ekimae Library OPAC

川瀬綾子[†] 北克一^{††}

KAWASE Ayako[†] KITA Katsuichi^{††}

要旨：TSUTAYAを運営するカルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社が公立図書館の運営を担い5年が経過しようとしている。そして、2017年2月4日に第5の「ツタヤ図書館」となる周南市立德山駅前図書館が開館した。本稿では、先立つ武雄市図書館、海老名市立図書館、多賀城市立図書館及び高梁市立図書館のOPACに山積していた諸問題が、周南市立德山駅前図書館では改善等がされたのかの検証、及び検索・予約システムにおけるジャンル(カテゴリー)区分の資料分類区分の差異を検証し、評価する。

キーワード：ツタヤ図書館、カルチュア・コンビニエンス・クラブ、CCC分類、ライフスタイル分類、周南市立德山駅前図書館、周南市立図書館、高梁市立図書館、多賀城市立図書館、海老名市立図書館、武雄市図書館

Keywords：TSUTAYA Library, Culture Convenience Club Co.Ltd., CCC Classification, Lifestyle Classification, Shunan Municipal Tokuyama-ekimae Library, Shunan City Library, Takahashi City Library, Tagajyo City Library, Ebina City Library, Takeo City Library

1. はじめに

TSUTAYAを運営するカルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社(増田宗昭代表取締役社長兼CEO；非上場；以下、CCC)が公立図書館の運営を担い5年が経過しようとしている¹。

2013年4月の佐賀県武雄市の武雄市図書館²を皮切りに、2015年10月に神奈川県海老名市の海老名市立中央図書館³が「ツタヤ図書館」としてリニューアルオープンしている。また、宮城県多賀城市の多賀城市立図書館(本館)⁴は駅前に移転し、第三の「ツタヤ図書館」として2016年3月21日に開館した⁵。さらに、2017年2月4日にはJR備中高梁駅隣接の複合施設中に、高梁市図書館が新規開館した⁶。

そして第5の「ツタヤ図書館」となる周南市立德山駅前図書館が2017年2月4日に開館した。

また、「ツタヤ図書館」の開館準備中、導入検討中のところには、宮崎県延岡市、和歌山県和歌山市などがある⁷。

なお、武雄市図書館や海老名市立中央図書館、多賀城市立図書館等のいわゆる「ツタヤ図書館」は、CCC内部の「CCCデザインカンパニー」で運営している⁸。

本稿では、先立つ武雄市図書館、海老名市立図書館、多賀城市立図書館及び高梁市立図書館のOPAC等に山積していた諸問題が、周南市立德山駅前図書館では改善されたのかの検証、及び周南市立德山駅前図書館の検索・予約システムにおけるジャンル(カテゴリー)区分等について、「大ジャンル」—「中ジャンル」のレベルで、直近開館の高梁市図書館等との比較を行い、評価する⁹。

2. 周南市立図書館

山口県周南市立図書館は、中央図書館、新南陽

[†] 京都外国語大学等

^{††} 大阪市立大学

図書館、福川図書館、熊毛図書館、鹿野図書館、徳山駅前図書館で構成されている¹⁰。

ただし新設の徳山駅前図書館を除いては、Web サイト及び OPAC は、中央図書館が運営・提供をしている¹¹。

一方、徳山駅前図書館は「ツタヤ図書館」であり、CCC が運営をしており、Web サイト及び OPAC も別途に異なるシステムで運営をしている¹²。この 2 つの異なるシステム間の連携、棲み分けや OPAC の展開については、後に詳しく取り上げる。

なお、徳山駅前図書館は「徳山駅前賑わい交流施設」の中核施設として構想されたものである¹³。

ただし、徳山駅前図書館が駅下車直結、徒歩 1 分であるが、一方、中央図書館も駅から徒歩 5 分の立地であり、通常の同一行政においての複数の図書館配置計画、全域サービス計画では考えにくい配置である¹⁴。

例えば、ジャーナリストの日向咲嗣は、「ツタヤ図書館は補助金を得るための施設」と厳しく批判している¹⁵。

3. 二つの Web サイト

先に述べたように、周南市立図書館では、従来から運営されてきた中央図書館及びその分館群と、今回新設された徳山駅前図書館とでは、運営主体も URL も異なる。以下では、中央館及びその分館群で構成される Web サイトを中央図書館 Web サイトと表記し、論述する。

3.1 中央図書館 Web サイト

中央図書館 Web サイトでは、トップページに利用案内、施設案内、お知らせほか計 13 件の情報リンクがある¹⁶。徳山駅前図書館の写真部分をクリックすると、徳山駅前図書館の Web サイトに繋がるようにリンクが張られている。図 1 は中央図書館の Web サイトである。

3.1.1 利用案内

利用案内には、開館時間、休館日ほか計 12 件の情報があり、それぞれリンクにより該当する下位ページに移動ができる。また、移動図書館「やまびこ号」の巡回日程、スポット場所等も示され

ている。

図 1 周南市立中央図書館 Web サイト



3.1.2 施設案内

施設案内では、中央図書館ほか 5 分館(徳山駅前図書館を含む)の案内がある。しかし、徳山駅前図書館へのリンクは無く、またメールアドレスの記載も無い。一体感の欠如がうかがえる。

3.1.3 お知らせ

お知らせには、図書館行事、イベントについて中央図書館ほか 4 分館(徳山駅前図書館を含まない)の案内がある。徳山駅前図書館については、「イベント情報は、徳山駅前図書館のホームページをご覧ください。」という案内のみで実際のイベントの内容はなく、徳山駅前図書館へのリンクをしている。リンク先は、「徳山駅前図書館」－「イベント一覧」である¹⁷。

3.1.4 図書館カレンダー

図書館カレンダーでは、中央図書館ほか 5 分館(徳山駅前図書館を含む)の案内がある。徳山駅前図書館の開館日数の多さ、開館時間帯の長さが際立っている¹⁸。

3.1.5 移動図書館案内

移動図書館案内では、「移動図書館’やまびこ号’巡回日程 2018」が掲載されている¹⁹。

3.1.6 蔵書検索

蔵書検索は、中央図書館が「簡単検索」、「詳しく探す」の2種類の検索システムを提供している²⁰。デフォルトは、「簡単検索」システムである。

図2 中央図書館提供「簡単検索」システム



図3 中央図書館提供「詳しく探す」システム



なお、「簡単検索」、「詳しく探す」の両方のシステムでも検索対象図書館の指定を行うことは出来ない。

また、これ以外に「こどもとしまかん」機能として検索システムを「こどもよう」に表示切り替えが出来る。

3.1.7 県内横断検索システム

山口県立山口図書館は、県内横断検索システムを提供している²¹。2018年3月30日時点での参

加図書館は、次である。

下関市、宇部市、山口市、萩市、防府市、下松市、岩国市、光市、長門市、柳井市、美祢市、周南市、山陽小野田市、周防大島町、和木町、上関町、田布施町、平生町、県立図書館(下線は、筆者)。

当該、周南市立図書館も参加している。しかし、中央図書館が維持・提供している Web サイトには、県内横断検索システムへのリンクがない。

トップページや蔵書検索ページにおいて県内横断検索システムについてのリンクや、説明等が必要ではないだろうか。

なお、次章で論じる徳山駅前図書館の Web サイトのリンク集部分には県内横断検索システムへのリンクはあるものの、トップページや蔵書検索ページにおいて、県内横断検索システムへのリンクがない。

両館共に利用者サービスの観点からは、大きな問題であり、指摘しておきたい。また、同一施設に併設している市民活動支援センターへのリンクもしていない点も合わせて指摘しておきたい。²²。

3.1.8 その他

中央図書館 Web サイトでは、その他として、個人の利用状況の照会(ID 及び PWD の認証がある)、新着図書案内、雑誌一覧、新聞一覧、予約ベスト、貸出ベスト、郷土資料ギャラリーがある。

予約ベスト、貸出ベストは、一般図書、児童図書、郷土資料、雑誌、AV の区分で示されている。

一方、徳山駅前図書館のシステムでは、「予約ランキング」(全ジャンル)の表示機能があり、さらに、ツタヤ分類での区分による絞り込み機能がある。

2種類のシステムは、統計区分の軸が異なるので、互いに独立した集計を行っていると思われる。

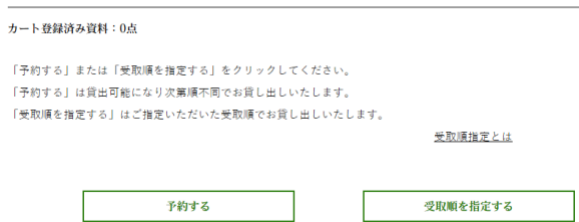
4. 徳山駅前図書館のシステム

まず、徳山駅前図書館のウェブサイトのデザインは先行する高梁市立図書館のウェブサイトを彷彿とさせる。ツタヤ図書館の基本デザインである。

ただし徳山駅前図書館では、「予約カート」の確認機能が新たに追加されている。機能として、「予約する」または「受取順を指定する」を選択する

ことが出来る。「予約する」は貸出可能になり次第順不同で貸出し、「受取順を指定する」は指定した順で貸出す機能である²³。

図4 「予約カート」の確認機能
予約カート



なお、徳山駅前図書館の Web サイトのトップページには、「English / 日本語」の選択ボタンがある。「ご利用ガイド / GUIDE」、「館内 MAP・施設案内 / ACCESS」の切り替えである。English モードを選択すると、英文の説明文になる²⁴。ただし英文範囲は、「ご利用ガイド / GUIDE」、「館内 MAP・施設案内 / ACCESS」の 2 種類のみであり、イベントの案内や OPAC 等には対応していない。

また、徳山駅前図書館の Web サイトには、移動図書館のルートや日時の案内が無い。業務の棲み分けを行っているとしてもそれは図書館側の問題であり、利用者にとっては市立図書館に変わりはない。移動図書館の案内は必要ではないだろうか。

4.1 OPAC の利用者インターフェイス

OPAC は、「かんたん検索」、「詳細検索」の 2 種類が提供されている²⁵。これ以外に「こどもとしゃかん」機能があり、その一部で子ども向け検索機能がある²⁶。

OPAC の利用者インターフェイスの設計は、高梁市立図書館とほぼ同一である。注目すべき点は以下である。

(1) 対象資料[区分]の選択肢(チェックボックスによる選択)が、高梁市立図書館、徳山駅前図書館共に、「図書、雑誌、AV」である。共に、多賀城市立図書館にあった「行政資料」という区分がない。

(2) 検索モードは、両図書館ともに「かんたん検索」モードと「詳細検索」モードがある。「かんたん検索」モード、「詳細検索」モード共に、所蔵館の指定ができる。

高梁市立図書館以前の「ツタヤ図書館」システムでは、「かんたん検索」モードでは所蔵館の指定は不可であった。

高梁市立図書館では、中央図書館及び 4 分館 1 移動図書館を検索対象として指定できる。一方、徳山駅前図書館では、中央図書館ほか 5 分館 2 移動図書館及び「Web 館」が指定できる²⁷。

チェックボックスの移動図書館であるが、「やまびこ号」については、中央図書館の Web サイトに巡回コース、日時等が掲載されている。しかし、もう 1 台の移動図書館「なかよし号」については、情報がない。徳山駅前図書館のトップページにある「サイト内検索」で検索しても、エラーが返ってくる。今後に展開をするのであろうか。

また、「Web 館」の意味も判然としない。「Web 館」のみを所蔵館として OPAC 検索をしても、中央図書館及び分館の所蔵検索を行うのみである。

図 5 は徳山駅前図書館の OPAC である。

図 5 徳山駅前図書館 OPAC



4.2 「資料をさがす」(検索・予約) システム

高梁市立図書館、徳山駅前図書館ともに、「書誌検索」では、同一画面に「かんたん検索」(簡易検索)モードと「詳細検索」モードが、同時に表示される。

「かんたん検索」モードは、ともにキーワード検索方式である。スペースを挟んで複数キーワードを入力すると、AND 検索になる。

4.3 一般的な検索項目:「詳細検索」モード

高梁市立図書館の「詳細検索」モードでは、一次検索項目として、書名、著者名、出版者、キーワード、ISBN の入力項目がある。またプルダウンメニューを使用すると、書名、著者名、出版者、キーワードのいずれかに入力項目が変更できる。

そして、ISBN のプルダウンメニューには、資料コードの入力項目がある。

徳山駅前図書館においても、高梁市立図書館の「詳細検索」モードと同一である。

多賀城市立図書館の「詳細検索」モードでは、書名、著者名、出版者、キーワード以外に、叢書名、一般件名、個人件名、学習件名、内容細目が選択できたが、高梁市立図書館以降は項目を絞り込んでいる。ただし、高梁市立図書館及び徳山駅前図書館の「書名」入力は、叢書名、内容細目をも対象として検索をしている。

用語の目録法的な正確さよりも、一般利用者の分かり易さを選択したのであろう。

検索式はデフォルト項目の「を含む」は、いずれも、プルダウンメニューから「で始まる」(前方一致検索)、「と一致する」(完全一致検索)を指定できる。

多賀城市立図書館システムにあった「を含む」(キーワード検索)は、両図書館システム共にない。「を含む」(キーワード検索)は、「簡単検索」でフォローできるという考えであろう。

また、多賀城市立図書館システムにあった項目間の論理演算子の選択機能もなくなっている。デフォルト項目が「かつ」は、いずれも、プルダウンメニューから「かつ」(AND 検索)、「または」(OR 検索)、「でない」(NOT 検索)を指定できた機能である。これもシンプルさを選択したと思われる。

る。

また、二次検索項目として、NDC 分類、出版年の範囲指定、独自分類である「ライフスタイル分類」²⁸による「ジャンル」指定項目があるが、これらは単独検索項目でなく、絞り込み検索機能である。

なお、「巻次の項目」が高梁市立図書館及び徳山駅前図書館では消えている。先行館での運営実績の上で、不必要との判断であろうか。

なお3図書館ともに、ひとつの検索項目欄に複数の語彙を入れると、それらの語彙間の AND 検索となる。

なお、徳山駅前図書館の詳細検索モードにおいて、二次検索項目として、NDC 分類、出版年の範囲指定、巻次の項目、独自分類である「ライフスタイル分類」による「ジャンル」指定項目があるが、これらは単独検索項目でなく、絞り込み検索機能であるのは、高梁市立図書館と同じである。

「ツタヤ図書館」は NDC を使用せず独自の分類(ライフスタイル分類)を採用している。ライフスタイル分類を OPAC において二次検索項目とせず、単独の検索項目とする方が、偶然の発見につながる可能性があり、「ライフスタイル分類」採用の趣旨にそぐうであろう。検索システム設計思想の一貫性が問われよう。

なお、両図書館システム共に、検索結果が 1,000 件を超える時は、「検索結果は、1,000 件です。」のメッセージと共に検索結果を表示する。これは明らかにシステム・バグである。

4.4 「ツタヤ図書館」OPAC の改善点と残る問題点

4.4.1 欠損書誌

我々は先行研究の中で、海老名市立図書館の OPAC で、「欠損書誌」が存在するため、検索結果一覧の該当件数と、ジャンル指定とに差が生じること触れた。「欠損書誌」について記した箇所を少し長い引用する。

- 1) 書名欄に「キッチン」と入力し、ジャンル指定を行わずに検索を行う。「検索結果一覧_該当件数は 176 件です」のメッセージと共に、最初の 10 件の書誌及び資料状態が表

示される。

2) 一方、左側の別メニュー画面では、検索結果件数が下位ジャンル区分単位で示されており、下位ジャンル区分を選択(クリック)することで、さらに個別の下位ジャンルで絞り込みが行える仕掛けである。この事例では、次の表示であった。「料理 73」、「旅行 1」「住まいと暮らし 23」、「美容・健康 3」、「趣味実用 3」、「児童書 20」、「文学・文芸書 10」、「自然科学 2」、「建築 12」、「医療・看護福祉 1」である。

3) このように、下位区分の表示件数の合計は、148 件であり、検索結果のメッセージ 176 件と一致しない。

4) 書誌の内容確認のために、先頭から数十件を表示して確認した。その結果、判明したことは、書誌レコードにおいてジャンルのデータが空白である書誌レコードが散見された。

5) これらの「欠陥書誌」の存在が、OPAC においてジャンル指定を行った場合に、検索結果から排除される理由であった。

ここから判明したことは、OPAC においてジャンル指定を行えば、結果として書誌レコードにジャンルデータが入力されていない書誌は、検索結果から排除されてしまうことである。すなわちジャンル検索を使用すると、海老名市立図書館のツタヤ図書館システムでは、利用者に OPAC の検索結果の部分集合を提示していることになる。日々に利用者を欺く情報提供ではないか。早急に書誌レコードの完全な整備と OPAC システムでの対応が求められる²⁹⁾。

なお、高梁市立図書館の OPAC においても、同様の不備のままである。

そこで今回、徳山駅前図書館においても書誌レコードの整備に不備があるのかを調査した。結果は以下の通りである。

1) 書名欄に「キッチン」と入力し、ジャンル指定を行わずに検索を行う。「検索結果一覧 該当件数は 371 件です」のメッセージと共に、

最初の 10 件の書誌及び資料状態が表示される。

2) 一方、左側の別メニュー画面では、検索結果件数が下位ジャンル区分単位で示されており、下位ジャンル区分を選択(クリック)することで、さらに個別の下位ジャンルで絞り込みが行える仕掛けである。この事例では、次の表示であった。

「料理 65」、「文学・文芸書 3」、「アート 1」、「住まいと暮らし 13」、「美容・健康 2」、「旅行 1」、「児童書 2」、「趣味実用 2」、「技術 1」である。

3) 下位区分の表示件数の合計は、90 件であり、検索結果のメッセージ 371 件とまったく一致しない。

これは、高梁市図書館及び徳山駅前図書館において、新しく CCC が受託した部分の書誌には CCC の「ライフスタイル分類」が付与されているが、それ以外の資料の書誌には同分類が付与されていないことが原因である。

このことは、例えば徳山駅前図書館のみを所蔵館として指定し、検索を実行すると 2 つの検索結果の件数が一致することから推測される。

多賀城市図書館の開館から、概ね 3 年間が経過しようとしている。新しく開館された高梁市図書館及び徳山駅前図書館においても「欠陥書誌」の存在が放置され、OPAC の検索結果に不整合や問題を放置していることを、厳しく指摘しておきたい。

4.4.2 構成書誌単位の検索と書誌表示での欠陥

先行研究では多賀城市立図書館、高梁市立図書館ともに所蔵している『みんなの少年探偵団』(万城目学他著 ポプラ社 2014 年)の構成書誌単位タイトルである「少女探偵」(湊かなえ著)を事例として取り上げた。OPAC において、構成書誌単位タイトルからも検索できるのかを確認するために、「少女探偵」をキーワードに入力し、検索を行った。結果、両図書館ともにヒットした。構成書誌単位のタイトル等も検索対象としている。

しかし、構成書誌単位のキーワードからも検索できた多賀城市立図書館、高梁市立図書館ともに、構成書誌単位タイトルを書誌詳細に表示していな

いため、なぜヒットしたのか利用者には分かりにくい可能性があり、早急な改善が求められることを指摘した。この点は徳山駅前図書館も同様である。

多賀城市立図書館では、先述の通り、OPACのプルダウンメニューに内容詳細があるものの、高梁市立図書館、徳山駅前図書館のOPACでは、プルダウンメニューから「内容細目」の項目は削除されている。検索項目と検索内容の不一致がある。

なお、徳山駅前図書館では、書誌詳細表示画面の右上に「お気に入りに追加する」というボタンが新たに追加されている。

図 5 徳山駅前図書館「少女探偵」検索結果書誌詳細表示画面



5. ライフスタイル分類

5.1 ライフスタイル分類：「ジャンル」という区分項目

CCC が運営受託をしているツタヤ図書館では、武雄市図書館始め5館のOPACには、「ジャンル」という名称の下に、NDCとは異なる特異な項目区分が採用されている。

「ジャンル」は、「大ジャンル」、「中ジャンル」、「小ジャンル」に階層化されており、ジャンルによっては、小ジャンルの下位区分に「仕切」-「細目」という下位区分が存在している。

武雄市図書館では、第一ジャンルには24区分があった。以下に、第一ジャンルの区分を表示順に列挙する。

表 1 武雄市図書館の大ジャンル 24 区分

PC	社会
コミック	人文
デザイン・アート	政治・国際
ビジネス	生活・趣味実用
医療・看護福祉	文学・文芸書
技術	法律
教育	旅行
経済	料理
建築	歴史・郷土
語学・参考書	児童書
産業	AV 資料
自然科学	その他

次に、海老名市立中央図書館には以下の29の第一次区分の「大ジャンル」がある。

表 2 海老名市立中央図書館、多賀城市立図書館、高梁市図書館及び徳山駅前図書館の大ジャンル29区分 (4 者は同一)

料理	政治・国際
旅行	社会
住まいと暮らし	法律
美容・健康	IT
ファッション	自然科学
スポーツ・アウトドア	産業
趣味実用	技術
人文	建築
児童書	医療・看護福祉
語学・参考書	教育
文学・文芸書	雑誌
歴史・郷土	コミック
アート	洋書
経済	AV 資料
ビジネス	

なお、多賀城市立図書館、高梁市立図書館及び徳山駅前図書館のOPACを確認すると、海老名市立中央図書館の「大ジャンル」と同一のジャンル名、同一順序であった。海老名市立中央図書館の「大ジャンル」が現時点での最善展開であるという判断であろう。ただし、海老名市立中央図書館では新たに「有馬一般」という大ジャンルが追加

展開されている³⁰。

6. 徳山駅前図書館のジャンル区分

6.1 中ジャンル展開の変更

徳山駅前図書館では、大ジャンル 29 区分の内、いくつかの下位の中ジャンル区分を変更している。順に確認する。

6.1.1 大ジャンル「文学・文芸書」

徳山駅前図書館の大ジャンルの「文学・文芸書」では、高梁市図書館の中ジャンル区分から大きく変更している。次に比較で示す。

表 3 高梁市図書館の「文学・文芸書」の中ジャンル区分

日本文学	文学理論・研究
東洋文学	論文集・講演集
英米文学	その他 文学・文芸書
ドイツ文学	叢書・全集
ドイツ関連文学	文庫
フランス文学	大活字本
フランス関連文学	
スペイン文学	
スペイン関連文学	
イタリア文学	
イタリア関連文学	
ロシア文学	
ロシア関連文学	
その他各国の文学	

表 4 徳山駅前図書館の大ジャンル「文学・文芸書」の中ジャンル区分

国内文学	論文集・講演集
海外文学	その他 文学・文芸書
詩歌・短歌・俳句	叢書・全集
文学理論・研究	大活字本

大ジャンル「文学・文芸書」では、高梁市図書館の中ジャンル区分が英米文学、ドイツ文学等の言語ごとに区分されているのに対して、徳山駅前図書館では、国内文学、海外文学の 2 区分にまと

めている。

また、「詩歌・短歌・俳句」という文学形式を新設している。一方、高梁市図書館の中ジャンルにあった「文庫」という出版形式を削除している。

いずれにせよ、収容能力 10 万冊、当初の蔵書数 6 万冊の徳山駅前図書館においては、あまりに細かい区分は必要がないということであろう。

なお、6 万冊の蔵書購入とは別に、3.5 万冊のダミー本を「空間装飾」のために 152 万円で購入したとの記事があり³¹、批判が起きている。

6.1.2 大ジャンル「歴史・郷土」

徳山駅前図書館では、大ジャンル「歴史・郷土」の下位区分として中ジャンルに「地方史」、「地図」を添加している。なお、検索結果から類推すると、中ジャンルの「地方史」には、防長地方の歴史関係の図書が分類されているようである。

また、高梁市図書館には「岡山県」や「高梁市」と言う中ジャンルがあるが、徳山駅前図書館では、「山口県」や「周南市」といったジャンルは無い。これらは「郷土」にまとめたものと類推される。

高梁市図書館では、ジャンル「歴史・郷土」の中ジャンル「高梁市」の下位区分小ジャンルに「行政」とある。一方の徳山駅前図書館では、大ジャンル「政治・国際」の中ジャンル「政治」の小ジャンルに「行政」が位置している。

6.1.3 大ジャンル「AV 資料」

大ジャンル「AV 資料」では、高梁市図書館と徳山駅前図書館の中ジャンル区分は同一で、中ジャンルに「音楽資料」、「映像資料」、「AV 資料」を並置している。概念的には、「AV 資料」の一部に「音楽資料」、「映像資料」がある。混乱であろうか。

また、高梁市図書館と同様に、徳山駅前図書館でも中ジャンル「音楽資料」—小ジャンル「音楽資料」が展開されており、さらにその下位に「落語・演芸」があり、違和感がある。

6.1.4 大ジャンル「雑誌」

高梁市図書館、徳山駅前図書館には大ジャンル「雑誌」の下位区分中ジャンルに「雑誌」、「新聞」とある。一般に新聞は OPAC 検索の対象であろう

か。徳山駅前図書館の所蔵する新聞を検索したが、ヒットしなかった。今後収集する可能性のある新聞の縮刷版等を収めるジャンルとなるのだろうか。

この点において我々は先行する「ツタヤ図書館」の資料区分を検証する。その5—高梁市立図書館の検索・予約システムを中心に—でも所蔵する新聞の一覧をウェブページに掲載すべきであるとの指摘をした。徳山駅前図書館では、新聞の一覧の掲載を「ご利用ガイド」に掲載している。しかし、新館であり新聞の廃棄はまだされていないためか過去何年分を保管するのが明記されておらず不明である。

6.2 小考察

以上、徳山駅前図書館と高梁市図書館のジャンル展開の差を中心に比較した。「大ジャンル」には全く差は見られなかった。

「中ジャンル」以降には、大ジャンル「文学・文芸書」を除いては、微々たる変化が見受けられたものの全体として顕著な改善点は見受けられなかった。

なお、大きな問題点を2点再確認しておきたい。第一は、大ジャンル以下に割り当てられている「ライフスタイル分類」の主題展開と個々の書誌レコードに入力されている「ジャンル」データとの不整合である。OPACでの検索結果に問題のある振る舞いへとつながる事項である。早急な対応が必要であろう。

ただし、周南市立図書館においては、既存の中央図書館ほか4分館と新たな徳山駅前図書館の2つは、検索システムも書誌レコードのありようも異なる。両システム間で無理な検索結果の統合をしていると考えられる³²。

なお、検索対象館を徳山駅前図書館のみに指定すると、検索結果一覧の該当件数と画面左側に表示される「ジャンルで絞り込む」の検索件数が一致する。

第二は、武雄市図書館システム以降、CCCによる5館目の展開であるが、図書館システムとしては安定感に欠ける。図書館業務の指定管理者として同一のCCCと契約を結び、運営委託を実施する「ツタヤ図書館」でありながら、それぞれが微妙に異なるシステムが運営されている。

ある意味、イージーオーダー図書館システムといえるかもしれない。逆に、図書館間の相互協力などへの配慮は乏しい。

7. 解決されなかった問題点

我々は以前に武雄市図書館、海老名市立図書館の検索・予約システムについて検証を行う中で、いくつかの大きな問題点を指摘しておいた³³。

本章ではこの問題点が、今回新しく開館された徳山駅前図書館でどのように措置がされたのかを検証していく。

7.1 所在表示と配架場所

表5は徳山駅前図書館のOPACでの検索結果の書誌詳細表示である。検索対象として、徳山駅前図書館を指定した。

表5 書誌詳細表示

もう一度、ごちそうさまが、ききたくて-ちかごろ人気の、うちのごはん 140 選- 著者：栗原 はるみ / 著 出版者：東京：文化出版局 出版年：1994年10月 ジャンル：料理/食卓のレシピ/日々のごはんの達人/日々のごはんの達人/栗原はるみ NDC分類：596 (以下、略)
所蔵__ 所蔵件数：4件 (予約件数：0件) 所蔵館 所蔵場所(棚番) 請求記号(以下、略) 中央図書館 中3階閉架書庫 /596/K/ (中略) 徳山駅前図書館 料理 料理 037 ㊦

この検索結果を元に、解決されなかった問題点を検証していく。

7.2.1 所蔵情報の表示バグ

第一に周南市立図書館では、今回の検討対象とした徳山駅前図書館以外に、中央図書館及び他の分館が4館あり、OPACでの書誌検索において、検索対象館を選択できる。

今回は、検索対象として、徳山駅前図書館を指定したが、上記の所蔵情報には中央図書館ほか4館の所蔵情報が表示された。これは明らかにバグである。

7.2.2 周南市図書館の請求記号

中央図書館の請求記号は、596/K である。596 は NDC 分類における料理の分類記号である。K は栗原氏の著者記号であろう。

一方、徳山駅前図書館の所蔵場所は、「料理」で、請求記号は「料理 037/刈」となっている。この内、「料理」の語彙は、すでに所在場所として「料理」が表示されているので、意味がない。残る「037/刈」の意味を解明する。鍵は書誌の「ジャンル」欄の「料理/食卓のレシピ/日々のごはん鍵は書誌の「ジャンル」欄の「料理/食卓のレシピ/日々のごはんの達人/日々のごはんの達人/栗原はるみ」にある。

下記に意味が判明するように前後の情報を付加して表示する。

「料理/食卓のレシピ/日々のごはんの達人/日々のごはんの達人/」の系と記号法の組み合わせである。

ー青山有紀	031 ア
ー有元葉子	032 ア
ー飯島奈美	033 イ
ーウー・ウエン	034 ウ
ー枝元なほみ	035 エ
ー奥園寿子	036 オ
ー栗原はるみ	037 ク
ーケンタロウ	038 ケ
(以下、略)	

この記号体系には、複数の問題点がある。順次に指摘しておく。

- (1) 「日々のご飯の達人」の五十音順の氏名一覧に対して、シーケンスに「030」以降の番号を与えている。しかし、新たに例えば「川上美恵子」が追加されたら、「奥園寿子 035 オ」と「栗原はるみ 036 ク」の間であるが、与えるべき番号がない。
- (2) また、「栗原はるみ」に固有番号「037」を与えているのであるから、著者記号「刈」は冗長な

だけで無意味である。

- (3) なお、検討したジャンルの階層的な文字列は、ある意味、件名標目もどきであることを付け加えておきたい。

この表示では、所蔵場所の表示「料理」の配置場所を知らなければ、資料へのアプローチが困難である。利用者は、「料理」ブロックの中で、「食卓のレシピ」コーナー → 「日々の料理の達人」サブコーナー → 「栗原はるみ」、とたどることになる。

また、返却図書の本架戻しを行う図書館スタッフは、徳山駅前図書館の大ジャンル 29 区分のフロア配置を熟知する必要がある。

一般的な別置記号、分類記号、著者記号等を組み合わせた所在記号体系の採用と比較して、独自分類を採用し、所在記号もどきを使用した「ツタヤ図書館」の大きな問題点であり、利用者サービス及び運営の課題、桎梏ともなる課題である。

8. 「予約カートに入れる」ボタン等新たな機能

徳山駅前図書館システムでは、所蔵情報の表示の下に「予約カートに入れる」ボタンと「予約する」ボタンがある。マイページ機能と連動している。

なお、先行する高梁市立図書館以前のツタヤ図書館システムでは、「予約する」というボタンのみであり、ホームページからは受取順指定の予約は出来ない。

また、徳山駅前図書館では、図 5 のように書誌詳細表示画面の右上に「お気に入りに追加する」ボタンがあり、マイページ機能の新たなサービスとして加わっている。

「予約カートに入れる」や「お気に入りに追加する」といった機能は利用者にメリットのあるシステムであり、他の「ツタヤ図書館」でも導入を検討されるべきではないだろうか。

9. さいごに

「ツタヤ図書館」の立ち上げ、運営の中心として業務を遂行してきた CCC のカンパニー長の高橋はインタビューで「公共事業は三つ手掛けて実績と認められる。多賀城はわれわれの集大成と位置付け、緊張感を持って臨んでいる。これまでは

不適切との指摘があれば、その都度改善すればいいという逃げの気持ちがあった」と述べている³⁴。また武雄市の受託の際の選書を振り返った際には、「行政手続としては問題ないと、当時から武雄市に言われていますが、武雄市図書館の時、僕たちはド素人でした。一館もやってない状態で、時間がなく、かつ予算もないという特殊な状況の中、2年半運営した経験を積んだ自分たちからすれば、もっと良いことができたのではないかと反省しています」³⁵という発言をしている。

ただし、検討を進めてきた範囲では、「もっと良いこと」は新委託図書館についてシステム改善がされるのみで、既に委託契約中の図書館への改善点の反映はほぼ確認できなかった。

また、ハフィントンポストに掲載された Chika IGaya の報告には「海老名市では、著者名の頭文字を記した「著者記号」が1文字だけだったため、多数の著者が同じ分類となってしまう、本を探しづらかった。そこで、多賀城市では著者名前の頭文字を2文字に増やしている」とある³⁶。

しかし、栗原はるみの書誌事例では、次の高梁市立図書館では確認をしたように、「栗原はるみ 036 ㄐ」と著者記号モドキは、カタカナ1文字に戻っている。そして、周南市立徳山駅前図書館では、再び、「栗原はるみ 036 ㄐ」と、カタカナ2文字に戻っている。付与の原則が見えない。

武雄市図書館、海老名市立中央図書館、多賀城市立図書館、高梁市立図書館は、今後の受託館をよりよくするための実験のために導入されたツタヤ図書館では無い。

CCC が培ってきたノウハウがあるのであれば、それぞれに還元されていくことを強く望む次第である。

高梁市図書館の開館から数か月、先行するツタヤ図書館と同様に、賛否両論が渦巻いている。評価は5年間の委託期間の全体を通じての総合評価を待たねばなるまい³⁷。

なお、武雄市図書館は委託期間満了後に、さらに5年間の延長契約、新たに新設の武雄市こども図書館³⁸の運営も併せて受託している。

付記：「ツタヤ図書館」での個人情報保護

海老名市立図書館、及び多賀城市立図書館のウ

ェブサイトをアクセスすると、「Culture Convenience Club Co., LTD [JP] | <https://ebina.city-library.jp>」、や、「Culture Convenience Club Co., LTD [JP] | <https://tagajo.city-library.jp>」、「Culture Convenience Club Co., LTD [JP] | <http://takahashi.city-library.jp/library/ja> と表示される。

CCC が指定管理者として受託した個々の図書館の一般名称は、例えば周南市立徳山駅前図書館の場合は、<http://shunan.ekimae-library.jp/>である。

「暗号化通信用の証明書に関する記載」を確認すると以下の表示があった。

証明書の情報

発行先 shunan.ekimae-library.jp

発行者 Cybertrust Japan EV CA G2

有効期間 2017/08/23 から 2019/09/30

周南市立徳山駅前図書館に対して発行されていることが分かる。とすれば、ウェブサイトで表示される「Culture Convenience Club Co., LTD [JP] |」の文字列は、誤解されやすい表現である。

早急な修正を望んでおきたい。

引用文献

1 代表的な批判に次がある。

田井郁久雄「海老名市立中央図書館の問題は何か～図書館と書店、CCCとTRC」『談論風発』Vol.10 No.2, 2015.10, p.1-5.

田井郁久雄「虚像の民営化『ツタヤ図書館』」『世界』No.876, 2015.12, p.196-205.

また、『みんなの図書館』466号2016年2月では「ツタヤ図書館」の特集をしている。合わせて参照されたい。

2 武雄市図書館

<https://www.epochal.city.takeo.lg.jp/winj/opac/top.do> [確認：2018年3月30日]

3 海老名市立図書館

<https://ebina.city-library.jp/library/ja> [確認：2018年3月30日]

海老名市立図書館は複数館で構成されている。OPACと図書館全体での共通システムでは、海老名市立図書館と表記し、委託対象の中央図書館については海老名市立中央図書館と表記した。

4 多賀城市立図書館

<https://tagajo.city-library.jp/library/ja> [確認：2018年3月30日]

5 なお、多賀城市は図書館の移転及び運営形態の変更について以下のようにコメントしている。

現在の図書館は、施設が手狭で必要なサービスが提供できないこと、老朽化により利用者にとって優しい空間とはなっていないこと、図書の貸出サービスを中心として整備された施設であり限定的なサービスの提供に偏っていること、さらには立地条件と交通アクセスの課題を抱えていることなどから市民利用率が1割ほどに止まっており、利用者の固定化が払拭できない状況となっています。図書館は、より多くの市民に利用されてこそ、その真価を発揮します。

移転後の図書館は、管理・運営形態とも常に利用者の視点に立ち、来館しやすい環境の整備や居心地の良い場と空間を創出するなど、新たな取組やサービスによって全ての市民に親しまれ利用される施設になることを目指し「本と人との出会い」をテーマに「本と人」をつなぐことで「人と人」をつなぎ、豊かな文化活動の交流拠点として地域社会と市民生活の発展に貢献します。

また、CCCの高橋聡図書館カンパニー長は現地での記者会見で、新図書館の経済効果は年間

約50億円と発表している。産出根拠は示されていない。

河北新報 3月21日(月)10時11分配信
http://www.kahoku.co.jp/tohokunews/201603/20160321_12023.html

[確認：2018年3月30日]

6 高梁市立図書館

<https://takahashi.city-library.jp/library/> [確認：2018年3月30日]

高梁市立図書館は、高梁市図書館、成羽図書館、有漢図書室、川上図書室、備中図書室及び移動図書館から構成されている。

高梁市図書館の立地場所は、JR備中高梁駅に隣接している。鉄道でのアクセスは、特急列車で岡山駅から約35分、倉敷駅から約20分、普通列車で岡山駅から約60分、倉敷駅から約35分である。ただし、JR伯備線は、概ね1時間当たり、特急列車1本、普通列車2本程度である。

2階は、備中高梁駅とつながっており、蔦屋書店、スターバックスコーヒー及び観光案内所がある。3階が(一般)図書室と学習室、4階は児童書、読み聞かせスペース、多目的室が配置されている。

開館時間は、9:00~21:00である。

7 「TSUTAYA 図書館は何を目指すのか？CCCの責任者が語る現状と『未来』」2015年11月12日『HUFF POST Society』

<http://www.huffingtonpost.jp>

[確認：2018年3月30日]

同記事は、2015年11月11日、横浜市で開催された第17回図書館総合展のフォーラムでのCCCの図書館カンパニー長の高橋聡氏の発言である。

なお、フォーラムの記録動画は、次を参照。

<http://www.libraryfair.jp/forum/2015/1852>

[確認：2018年3月30日]

なお、延岡市延岡駅前の複合商業施設「エンクロス」内の延岡駅前図書室(仮称)は、開設が延期となっている。同市の新市長が2018年2月27日開会の市議会に対して、「エンクロス」についての運営委託の適否について、精査を行う旨の意向を表明している。

8 カルチュア・コンビニエンス・クラブ 2017年3月期決算公告 2017-06-18 09:43:12

カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社

2017年3月期連結決算公告 2017.06.01 日刊工業新聞より

資本金1億円 資本剰余金198.10億円、利益

剰余金 334.06 億円、売上 2551 億、営業利益 95.02 億、経常利益 145.01 億、当期純利益 25.30 億円

2017 年 3 月期単体決算

資本金 1 億円、資本剰余金 253.71 億円、利益剰余金 444.73 億円、自己株式 690.71 億円、売上 278 億、営業損失 20.41 億、経常利益 15.99 億、当期純利益 49.68 億円

<https://ameblo.jp/nn2006jp/entry-12284719544.html>

[確認：2018 年 3 月 30 日]

⁹ 我々は武雄市図書館、海老名市立図書館及び多賀城市立図書館の資料区分について研究を行った。以下を参考にされたい。

川瀬綾子、北克一『『ツタヤ図書館』の資料区分を検証する その 1—武雄市図書館、海老名市立図書館の検索・予約システムにおけるジャンル(カテゴリー)指定を手掛かりに—』『資料組織化研究-e』No.68, 2016.3, p.1-28.

<http://techser.info/> [確認：2018 年 3 月 30 日]

川瀬綾子、北克一『『ツタヤ図書館』の資料区分を検証する その 2—武雄市図書館、海老名市立図書館の「こどもとしょかん」検索システムにおけるジャンル(カテゴリー)設定を手掛かりに—』『資料組織化研究-e』No.68, 2016.3, p.29-50.

<http://techser.info/> [確認：2018 年 3 月 30 日]

川瀬綾子、森美由紀、北克一『『ツタヤ図書館』の資料区分を検証する その 3—多賀城市立図書館の検索・予約システムを中心に—』

『情報学』13(1), p.64-81.

<http://kiyo.info.gsc.osaka-cu.ac.jp/JI/issue/view/161> [確認：2018 年 3 月 30 日]

川瀬綾子、森美由紀、北克一『『ツタヤ図書館』の資料区分を検証する その 4—図書に対するアマゾン分類と CCC 分類の比較検討—』

『情報学』13(1), p.82-92.

<http://kiyo.info.gsc.osaka-cu.ac.jp/JI/issue/view/161> [確認：2018 年 3 月 30 日]

川瀬綾子、森美由紀、北克一『『ツタヤ図書館』の「こどもとしょかん」機能の検証—』

『情報学』13(1), p.93-105.

<http://kiyo.info.gsc.osaka-cu.ac.jp/JI/issue/view/161> [確認：2018 年 3 月 30 日]

¹⁰ 周南市立図書館 TOP ページ

<https://shunan-library.jp>

[確認：2018 年 3 月 30 日]

なお、これ以外に 2 台の移動図書館車を運営している。

¹¹ 同上

¹² Culture Convenience Club Co., LTD. [JP] |

<http://shunan.ekimae-library.jp>

[確認：2018 年 3 月 30 日]

なお、CCC 受託の図書館名は Web 等では、周南市立徳山駅前図書館であるが、実際の建築物の表示は「周南市立駅前図書館」と「徳山」の文字がない。

¹³ 「徳山駅周辺整備構想」

<https://www.city.shunan.lg.jp/site/list99-597.html> [確認：2018 年 3 月 30 日]

「徳山駅周辺整備基本計画」

<https://www.city.shunan.lg.jp/site/list99.html>

[確認：2018 年 3 月 30 日]

「徳山駅前広場整備基本計画」(公開要綱)

<https://www.city.shunan.lg.jp/uploaded/attachment/21519.pdf> [確認：2018 年 3 月 30 日]

「徳山駅周辺整備事業」担当：中心市街地整備課

<https://www.city.shunan.lg.jp/site/eksieibi/>

[確認：2018 年 3 月 30 日]

¹⁴ 周南市立図書館利用案内

<https://shunan-library.jp/riyouannai/index.html>

[確認：2018 年 3 月 30 日]

¹⁵ 日向咲嗣「ツタヤ図書館、ダミー本 3 万 5 千冊に巨額税金 経営のカフェ&新刊書店入居」

『Business Journal』2017.03.18.

http://biz-journal.jp/2017/03/post_18386.html

[確認：2018 年 3 月 30 日]

¹⁶ 周南市立図書館

<https://shunan-library.jp/>

[確認：2018 年 3 月 30 日]

¹⁷ 徳山駅前図書館—「イベント一覧」

Culture Convenience Club Co., LTD. [JP] |

http://shunan.ekimae-library.jp/ja/event_list/

[確認：2018 年 3 月 30 日]

¹⁸ 「図書館カレンダー」

<https://shunan-library.jp/WebOpac/webopac/library.do>

[確認：2018 年 3 月 30 日]

¹⁹ 「移動図書館やまびこ号巡回日程 2018」

<https://shunan-library.jp/idou/index.html>

[確認：2018 年 3 月 30 日]

²⁰ 中央図書館提供の蔵書検索システム

<https://shunan-library.jp/WebOpac/webopac/selectsearch.do?searchkbn=0&histnum=1>

[確認：2018 年 3 月 30 日]

<https://shunan-library.jp/WebOpac/webopac/selectsearch.do?searchkbn=2&histnum=1>

[確認：2018 年 3 月 30 日]

[確認：2018年3月30日]

²¹ 「山口県内図書館横断検索」

<https://library.pref.yamaguchi.lg.jp/wo/cross/>

[確認：2018年3月30日]

²² 周南市市民活動支援センター

<https://www.city.shunan.lg.jp/soshiki/15/3511.html>

[確認：2018年3月30日]

²³ 「予約カート」

https://shunan.ekimae-library.jp/cart_list

[確認：2018年3月30日]

²⁴ 先行した海老名市立図書館、多賀城市立図書館、高梁市立図書館も確認をした所、同様の仕様変更がされていた。

²⁵ 「徳山駅前図書館 資料を探す」

https://shunan.ekimae-library.jp/ja/library_search/conditions

[確認：2018年3月30日]

²⁶ 「こどもとしょかん」

https://shunan.ekimae-library.jp/ja/kids_menu

[確認：2018年3月30日]

²⁷ ただし、2 移動図書館として、及び「Web 館」がある。

²⁸ この独自分類(ライフスタイル分類)について、CCC(カルチュア・コンビニエンス・クラブ)社長の増田宗昭氏は、インタビューにおいて次のように述べている。

——CCCの独自分類が戻しにくくしているのでは。利用者も探しにくい。

増田；探しにくいって人もいるし、発見があるって人もいる。

——もし、自治体が「いや、これは探しにくさのデメリットのほうが大きい」となったら……。

増田；それはCCCを採用しない。

——となると分類方法を変える？

増田；いや、変えない。市が俺たちを採用しないってことよ。俺らの持ち味は独自分類だから。

——CCCが指定管理者である以上は、独自分類を続けるということですか？

増田；じゃなければやる意味がない。

「独占直撃 図書館のこと、本のことすべてに伝えよう」『週刊東洋経済』2015年10月31日号, p.53.

しかし、我々が一連の論文群「『ツタヤ図書館』の資料区分を検証する」で確認をしてきた範囲では、「増田；じゃなければやる意味がない」ほどの分類体系とは考えられない。

²⁹ 川瀬綾子、森美由紀、北克一『『ツタヤ図書館』の資料区分を検証する その3—多賀城市立図書館の検索・予約システムを中心に』

『情報学』13(1), p.64-81.

<http://kiyo.info.gsec.osaka-cu.ac.jp/JI/issue/view/161> [確認：2018年3月30日]

³⁰ 「有馬一般」という大ジャンルは、海老名市立有馬図書館の一般図書のことと推測できる。

³¹ 前掲 15)

³² 同様のことは、貸出管理、予約管理等のハウスキーピング業務においても考えられる。

³³ 川瀬綾子、北 克一『『ツタヤ図書館』の資料区分を検証する その1 —武雄市図書館、海老名市立図書館の検索・予約システムにおけるジャンル(カテゴリー)指定を手掛かりに—』『資料組織化研究-e』No.68, 2016.3, p.1-28.

<http://techer.info> [確認：2018年3月30日]

[確認：2018年3月30日]

しかし、「図書館らしい景観」を演出するのにダミー本を大量に飾る「芝居の書き割り」とは峻別すべきであろう。研究者としての見識が問われよう。

³⁴ 河北新報「<ツタヤ図書館>高め合う学びの場に CCC 図書館カンパニー長・高橋聡氏に聞く」http://www.kahoku.co.jp/tohokunews/201603/20160320_15010.html [確認：2017.12.25]

³⁵ 「武雄市図書館の時はド素人でした」海老名市でオープンした2館目のTSUTAYA 図書館は何が違う？ [by] Chika Igaya

投稿日：2015年09月30日 22時34分 JST 更新：2015年10月06日 19時05分 JST

http://www.huffingtonpost.jp/2015/09/30/ebinas-hi-takeoshi_n_8220202.html

[確認：2018年3月30日]

³⁶ Chika Igaya 「3館目の「TSUTAYA 図書館」が多賀城市にオープン 武雄市や海老名市との違いは？」2016年3月20日『HUFF POST Society』http://www.huffingtonpost.jp/2016/03/20/tagajoshi_n_9509504.html[確認：2017.12.25]

³⁷ 例えば、賛成意見。

話題沸騰！ おしゃれ過ぎる高梁市図書館に行ってみた。Posted 2017.02.03

<https://tjokayama.jp/trip/23284/>

[確認：2018年3月30日]

1階にはバス乗り場や飲食店をはじめとする商業施設も入った複合施設です。

ちなみに、1階にはバスセンターのほか、カレーやドリンクが味わえるカフェ『高梁ほっとカフェ』、昼はパスタ、夜はバルとして食事が楽しめるイタリアン『GATTO LIBERO(ガット・リベロ)』もあります。

4階のキッズライブラリーは、小学生対象のコーナーと幼児対象のコーナーに分かれており、年齢に合った本の探し方ができます。幼児コーナーの壁一面の動物のモニュメントは、紙のパズルやグラフィック折り紙創作で有名な「cochae」デザインによるもの。国内・海外の絵本や、司書がセレクトした人気ラインナップの大型絵本がそろっています。ベビーにはうれしい、靴を脱いで過ごせる絵本の読み聞かせスペースのほか、子ども用トイレや授乳室などの設備も完備。子連れママにとっては使いやすさ抜群！

さらに、「天空の公園」をイメージした、空を感じるキッズテラスには「ボーネルンド」の遊具が！遠くには備中松山城を望むことができるんですよ。キッズテラスでは飲食が可能なので、お弁当を持ち込んで、家族やママ友と楽しむのもいいかも。

例えば、反対意見。

オワコン

終わりなきコンテンツ 尾鷲より愛をこめて

高梁市に出来たツタヤ図書館の問題―「地域を活性化できない」

<http://www.kyohei-suzuki.com/entry/tsutayalibrary>

[確認：2018年3月30日]

- ・投資額がでかすぎ！街が貧乏になる
- ・毎年の赤字が街をより貧乏に
- ・潤うのは高梁市ではなく、大阪市だ
- ・公共施設は税金で作られていることを忘れちゃいけない

例えば、館長の紹介記事。

元・気・人

2月4日に開館した高梁市図書館の館長 藤井勇さん /岡山

『毎日新聞』2017年3月9日 地方版

<https://mainichi.jp/articles/20170309/dtl/k33/040/546000c>

[確認：2018年3月30日]

民間運営「粘り強く説明」 藤井勇(ふじい・いさむ)さん(67)

2月4日に開館した高梁市図書館(同市旭町)で館長を務める。図書館は今年3日現在の累計入館者数が6万7855人で、目標の年間20万人達成

に向けて順調なスタートを切った。

同市出身で県教委に採用され、主に教育行政畑を歩んだが、小学校の校長も10年間務めた。定年後、支援が必要な児童・生徒の指導員になり、「子どもの成長に関わるのが天職だと思っていた」。

市教育委員だった昨年、図書館を運営する「カルチュア・コンビニエンス・クラブ(CCC)」に誘われた。「図書館の場所や民間への委託など、賛否両方の意見に直面していた。悩んだが、誰かがやらなくてはいけないなら微力ながらも」と任期途中で委員を辞め、同市に移住してきたCCCの若いスタッフらと約半年、開館準備に汗をかいた。

CCCの社員という形で館長を務めるが、民間企業は初体験。「責任の所在がきっちりしており、会議の積み重ねで皆が同じベクトルを向いている。

(後略)

「ツタヤ図書館、強引にCCCへ委託先決めた市教委委員長が新館長就任か…再び天下り人事疑惑」
2016年11月17日

「Business Journal」

http://biz-journal.jp/2016/11/post_17202.html

[確認：2018年3月30日]

ツタヤ図書館、強引にCCCへ委託先決めた市教委委員長が新館長就任か…再び天下り人事疑惑

岡山県高梁市は11月1日、レンタル大手TSUTAYAを運営するカルチュア・コンビニエンス・クラブ(CCC)を指定管理者とし、管理・運営を任せた図書館を、来年2月4日にオープンすると正式発表した。

駅前に完成した4階建ての複合ビルに、賑わい創出の目玉としてCCCがプロデュースするカフェや書店を併設する滞在型の新図書館がオープンする計画で、佐賀県武雄市、神奈川県海老名市、宮城県多賀城市に続いて、全国で4例目となる“ツタヤ図書館”だけに、かねてより注目を集めていたのだが、驚いたのがその人事である。

新聞報道等で、新図書館の館長として名前が挙がったのは、高梁市教育委員会の委員長だった藤井勇氏だ。教育委員としての任期は、2013年11月16日～17年11月15日までとなっていたが、任期を1年以上残して今年9月30日付で退任していた。

さらに取材してみると、10年3月に同市内の小学校校長を定年退職した後は長年、地元教育界で活躍されていて、「10月1日からCCC社員として入社したと聞いています」（市議会関係者）とのこと。（中略）

新館長就任予定の藤井勇氏を直撃

今回の人事について、館長就任予定の藤井氏本人はどのようにとらえているのだろうか。またどのような経緯で、教育委員が館長就任となったのだろうか。そこで、藤井氏本人に直撃取材を行った。

--館長ご就任について、お話をお聞かせください。

藤井勇氏（以下、藤井） CCC 広報を通して質問していただければ、広報を通じてお答えさせていただきます。

--CCC 広報には、今回の件について別にコメントをお願いしています。直接、ご本人にお聞きしたいのは、世間では今回の人事を「天下り」ととらえる方もいらっしゃるようです。その点について、ぜひご本人の口から、ご説明いただきたいのです。

藤井 私が選んだわけではないので。そういったこともすべて広報がお答えします。

--広報経由では、ご真意が伝わらないのではないのでしょうか。

藤井 私も雇われた身でございます。「広報を通じてお答えすると回答してください」と言われているのです。

（後略）

（文＝日向咲嗣／ジャーナリスト）

38 【武雄市こども図書館 概要】

- ・ 開館日 : 平成 29 年 10 月 1 日
- ・ 営業時間 : 午前 9 時から午後 9 時
- ・ 休館日 : なし
- ・ 敷地面積 : 1,439 m²
- ・ 建築面積 : 614.27 m²
- ・ 建築延面積 : 691.34 m²
- ・ 事業費 : 4 億 87 百万円
- ・ 蔵書冊数 : 図書 ; 20,000 冊 CD・DVD ; 1,000 枚

<http://www.city.takeo.lg.jp/information/uploads/20171001kodomu.pdf>

[確認 : 2018 年 3 月 30 日]

[2018 年 4 月 10 日受理]